

# 官民連携によるマンガ等を活用したまちづくりの推進について

## 報告事項

- (1) ポップカルチャーを活用したまちづくりについては、札幌市としての優位性を生かすことができるマンガを核として取り組む。
- (2) 札幌独自の在り方を検証するために、官民連携で取組を進める。
- (3) 推進体制として、（仮称）一般社団法人札幌マンガ・図書等活用まちづくり機構を民間企業と共に立ち上げる。

# 官民連携によるマンガ等を活用したまちづくりの推進について

## マンガ等ポップカルチャーを活用したまちづくりに関するこれまでの検討経過 (1)

- 2021年11月、札幌・北海道にゆかりのあるマンガ家有志による「北海道マンガミュージアム構想」からのマンガミュージアム建設に関する要望及びその協力の申し出を受けた事を端緒として検討を開始。
- 2022年度に「**図書（マンガ）を核としたライブラリー、ミュージアム及びビジネスの展開に関する可能性調査**」実施。
- アクションプラン2023に、「文化芸術活動に広がりを持たせるとともに、マンガ等のポップカルチャーを活用した新たなまちづくりの可能性を検討する」ことを位置づけた。

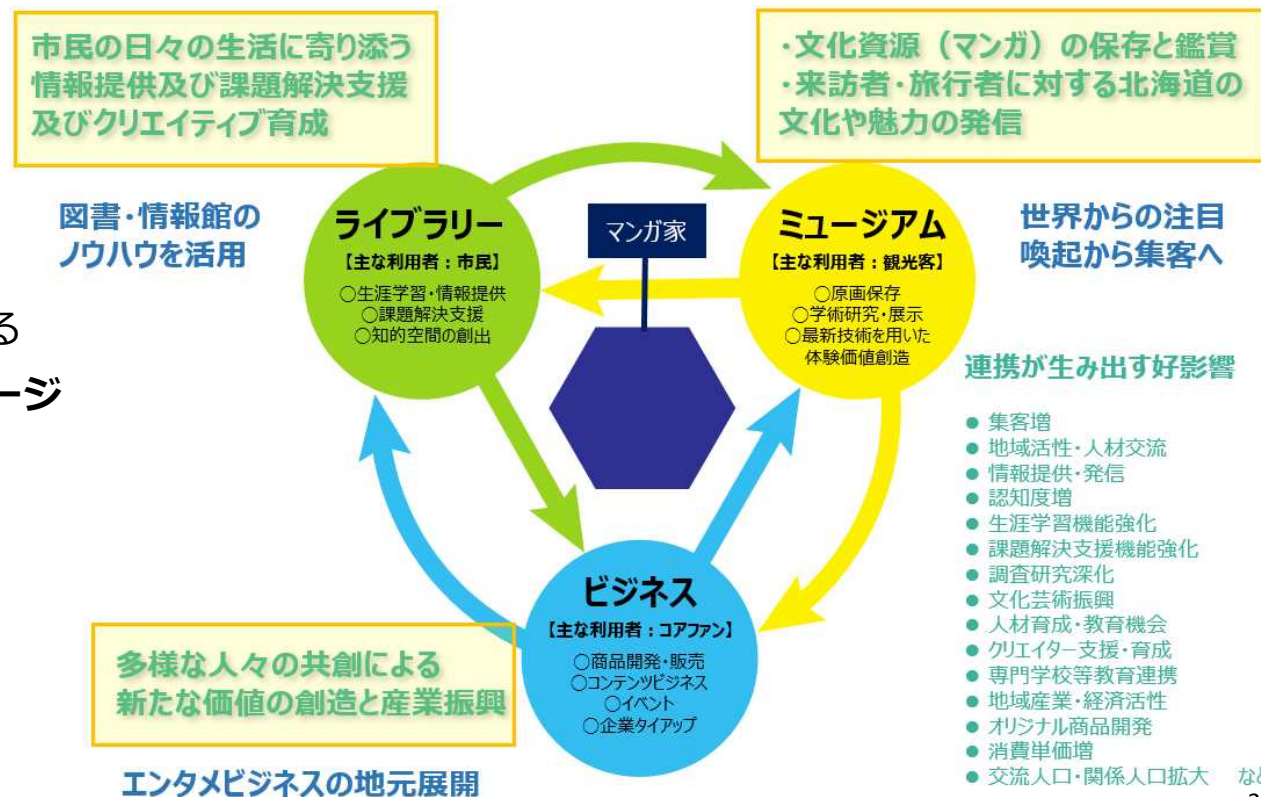
### 2022年度の可能性調査（概要）

#### 可能性

- ▶ 多くのマンガ家を輩出している札幌・北海道でのライブラリー、ミュージアム、ビジネスの三機能を連環させた取組には、新たな都市の魅力とさらなる**市民の愛着**を生み出す可能性
- ▶ マンガコンテンツを用いた新たな文化芸術創造は、豊かな市民生活の一助となり**新たな街の魅力**となる
- ▶ マンガ家からの協力の申し出は**大きなアドバンテージ**

#### 課題

- ▶ マンガに興味がない市民を含め、マンガの魅力と価値を知ってもらい、**機運醸成を図ることが必要**
- ▶ 専門的な技術や知見、資金等において、**官民連携体制の構築**が必要
- ▶ クリエイターやその周辺**人材の育成・支援**が必要



官民連携によるマンガ等を活用したまちづくりの推進について

マンガ等ポップカルチャーを活用したまちづくりに関するこれまでの検討経過 (2)

2023・2024年度 調査研究事業

●2022年度の可能性調査の結果を受け、2023・2024年度には調査分析及び機運醸成を目的とした企画展を開催

2023年度

内容	会場	会期	入場者数	備考
『あさきゆめみし』×『日出処の天子』展	東1丁目劇場	2024.3.9～3.24	8,029人	
白い妖怪ぱーく展	白い恋人パーク	2024.2.3～2.14	1,859人	
北海道とマンガのミライ	中央図書館	2023.10.12～12.12	6,500人	教育委員会主催
SAPPORO MANGA FOREST (フォーラムも開催)	図書・情報館	2024.2.29～3.26	—	教育委員会主催



分析結果 (抜粋)

- 展覧会開催による経済波及効果
  - ・『あさきゆめみし』×『日出処の天子』展：約2億4,000万円
  - ・白い妖怪ぱーく展：約1億円
- 今後取り組んでいくべき施策
  - ・ 関連人材の育成・発掘として、教育の場や接する機会を提供
  - ・ 関連企業の進出・集積と関連人材の育成・発掘、地元就職・定着の好循環が生まれる仕組み
  - ・ ポップカルチャーの活用による経済効果を市民が享受・実感・理解し、市民がポップカルチャーのまちとして誇りや愛着を感じるような取組

2024年度

ライブラリー・ミュージアム・ビジネスの三機能が有機的に連動することを想定したプロトタイプ施設運用【10月12日～】





# 官民連携によるマンガ等を活用したまちづくりの推進について

## 札幌がもつアドバンテージ（マンガ家の協力）（1）



都道府県別の出身マンガ家数ランキング

1	東京	663
2	神奈川	388
3	大阪	383
4	北海道	352
5	愛知	280

ウェブサイトで「まんがSeek」の投稿などを参考に調査・集計したものです。

あきの香奈 秋本奈穂子 あきよし菜鳥 あくたれい 旭丘光志 朝比奈ゆうや 麻見雅 あづち涼 あづま里子 虹川裕美 あべさより あや秀夫 綾峰けう 飯坂友佳子 飯塚修子 五十嵐正邦 井崎一夫 石倉純一 石本美穂 イタガキノブオ 坂本こうこ 伊東昌彦 伊藤誠 稲光伸二 犬木加奈子 イラ姫 岩泉舞 いわおかめ 岩尾奈美恵 岩ちか 岩前裕二 いわずね 内田康平 ウヰヒ助（厚田区久） 浦本直見 えいだ華子 榎本あつき えびなしお Mナオキ 桜原あくる 大石倉人 大海日出男 大清水さち 大槻メグミ（大塚区） おおにし真 大海たけ 大和田夏希 岡田コウ 岡田和人 緒形もり 関元あこ OKAWARI 小山内龍 小澤さとる 小田島佳代 小田原史 佐藤二葉 鬼丸ちひろ	緒原博緒 小原ヨシツグ 帯ひろ志 香川祐美 加賀谷清一 かきざき和美 柿本八郎 カスカベアキラ 片岡吉乃 桂明日香 叶夢弘 香村陽子 鶴修平 鶴崎かもつ 河島北原 川本貴裕 神田森利 菅野博之（菅野博士） 菊田雅子 北野弘務 北野生 北星晃平 北村咲都子 北本善一 北森サイ 北山茂樹 北山竜 塚原のん くさの品宏 葛原久（葛原久人） くりひろし 黒田ともみ 桑原太矩 ケン・ヒサオカ 小池定路 小池ノクト 小園桃子（汐留ゆき） 佐々木 コナタエル 小成たか紀 小早川ハルヨシ 小松 立美 小山奈々美 こまみゆ コンノヒロ 今野涼 斎藤岬 佐伯茜 サガノハルマ 潮野安子 さくらえびま 桜井さより 桜井まこと 佐々木哲也 佐藤史史 佐藤二葉 佐藤真樹	世原ひろみ（※英語） 佐山玲子 しがの美穂 儀有紀子 しばたひろこ シヒラ竜也 清水奈風 清水康代 清水祐幸 しもみ雅之 終焉 寿限無（新潟県美） しらかわきく 白銀章 観音子 菅野マナミ 菅原雅雪 杉基イクラ 鈴木雅子 鈴木有希子 砂（セーブル） 砂原ともみ 砂原真希（遠坂八代） すみあき 瀬川あや 瀬川東子 瀬川七ロミ 太陽星太郎 高木章次 たかさきもこ 高嶋ひろみ 高瀬ともみ 高田エミ 高田祐子 高田えみ 高梨くみ 高野うい 高野優 高橋一郎 高橋光 高橋由紀 田川とまた 武内つなよし 竹村裕美 田島ハル たしる季露 橋本（へろはす） 田中加奈子 たなかてつお 谷川博実 谷口聖夢 谷村まりか たむらあやこ 伊達てるまさ チカ 塚本やよい 土田しんのすけ	土屋徳子 津村かおり テクノサマタ 東条さかな 常盤真弓 友成孝治 友藤結 仲尾佳 中川学 長沢克泰 中村篤九 ながらりょうこ 流星光 夏目恵二 夏目コウ ナフタレン水嶋 なるめ 新岡剛 新島明彦 にぎりこぶし にしの公平（木ノ花さくや） 布達美 沼よしのぶ 猫間ことみつ 野中のばら 橋本多佳子 羽田なつみ 清岡剛子 はみ はやさきゆう 早坂よしゆき 林崎文博 針井佑 春矢あや ハシ角秀 ひの宙子 平口広美 広瀬なつめ ふくし政美 藤田和子 藤田貴美 藤原つかさ 藤原えみ（長谷原敏） 古田久恵 prhs（へろはす） ベンジャミン 堀内三佳 堀田あきお 前田聖津子 真壁ゆきを 真木しょうこ 渡辺操人 和戸村 わらいなく	松田一輝 松根英明 松久由宇 松本あやか Marita 円山みやこ 三浦美子 ミカミイヅミ 美川べるの 三倉佳境（三倉海風） 三倉かけ みさと美夕稀 水月博士 湊谷夢吉 南ひろゆき 南文夏 美濃みずほ 宮直樹 宮村正治 三好智樹 御米樹 無一文 向中野義雄 村上真紀 むらさき朱 mebae 森熊猛 森田南 森次矢母 森永チヨ 森山薫 森谷幸子 安田タツ夫 やまき美子 山科鈴子 山田和重 山田ユギ 山花典之 ヤマモトマナブ 山本雅音 夕庭ありす ゆうみ・えこ 余湖裕輝 横山えいじ 横山文代 横山裕二 横山一 吉田めぐみ 吉野マリ 夜田あかり ら坊 ルーツ 若狭たけし 渡辺操人 和戸村 わらいなく
---	---	---	---	---

北海道ゆかりのマンガ家マップに 掲載しきれなかった方々

計284名

「北海道ゆかりのマンガ家」とは「生まれ」「出身」「在住」のほか、幼少期や学生時代など過去に北海道にお住まいだった方など広く捉えています。また、マンガ家名は敬称略、五十音順に表記しています。

作成者：札幌市まちづくり政策局政策企画部プロジェクト担当 協力：表智之／北九州市漫画ミュージアム、ムーンライティング 作成日：2024年9月

# 官民連携によるマンガ等を活用したまちづくりの推進について

## 札幌がもつアドバンテージ（マンガ家の協力）（2）

### 北海道マンガミュージアム構想

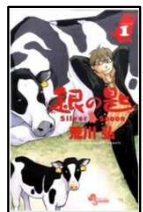
#### 発起人（18名）



大和和紀  
札幌市出身  
東京・札幌在住  
発起人代表



山岸凉子  
上砂川町出身  
東京在住  
発起人副代表



荒川弘  
幕別町出身  
埼玉在住



いくえみ綾  
名寄市出身  
札幌在住



石川サブロウ  
岩内町出身  
東京在住



板垣恵介  
釧路市出身  
東京在住



魚戸おさむ  
函館市出身  
東京在住



大西巷一  
室蘭市出身  
石川在住



さとう輝  
松前町出身  
千葉在住



島本和彦  
池田町出身  
札幌在住



瀧波ゆかり  
釧路出身  
札幌・東京在住



花輪和一  
埼玉出身  
札幌在住



東元俊哉  
札幌市出身  
北広島在住



星野之宣  
帯広・釧路市出身  
札幌在住



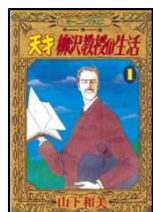
本庄敬  
寿都町出身  
東京在住



安彦良和  
遠軽町出身  
埼玉在住



ヤマザキマリ  
東京都出身  
幼少期札幌



山下和美  
小樽出身  
東京在住

#### 賛同者（14名）



大谷博子  
新冠町出身



小沢真理  
札幌市出身



オノヤマコズエ  
北海道出身



河原和音  
滝川市出身  
札幌在住



ささやななえこ  
芦別市出身  
東京在住



椎名軽穂  
羽幌町出身  
札幌在住



諏訪緑  
釧路市出身



野田サトル  
北広島出身



フビドゥン溢川  
北海道出身  
北海道在住



水野美波  
札幌市出身



三原順  
札幌市出身  
※故人



目黒あむ  
北海道出身



モンキー・パンチ  
浜中町出身  
※故人



もんでんあきこ  
三笠市出身  
札幌在住

札幌・北海道は多くのマンガ家を輩出しており、  
その有志の方々から協力の申し出を頂いていることは、  
取組を進めるうえでの大きなアドバンテージ



多様なポップカルチャーの中でも  
札幌市としての優位性が認められる  
「マンガ」を核として取組を推進



# 官民連携によるマンガ等を活用したまちづくりの推進について

## 官民連携での札幌ならではの取組の検討

### ■ 2022年度の可能性調査では…

- 専門的な技術や知見、資金等において、官民連携体制の構築が必要
- ライブラリーや魅力発信に係る公共機能は行政、収益・集客機能は民間として役割分担
- ライブラリー、ミュージアム、ビジネスの各機能の可能性を行政のみで追求することの限界

官民連携による  
三機能を連携さ  
せた取組の推進

### 2024年度

### ▼ 産学官連携によるマンガ・アニメ等のポップカルチャーを活用したまちづくりに関する意見交換会の立ち上げ

- 2024年6月スタート。マンガやアニメ等に関心が高い道内外の企業や大学等18社（団体）が参加
- 主な意見は以下のとおり。
  - ▶ 今後5年間をトライアル期間とし、マンガを核とした三機能の循環を視野に官民連携で取組を推進すべき
  - ▶ 産学官が連携した推進体制が必要
  - ▶ KPIの共有が必要（継続性の仕掛け、5年間のターゲットのプライオリティ）
  - ▶ 多方向からの視点の必要性
    - ・ 札幌のブランディング向上 …… マンガ・アニメの街として認知
    - ・ 経済活性化 …… 季節に関係なく集客できる仕組みの構築
    - ・ 教育と人材育成 …… 官民連携でマンガ家やその周辺人材を育成する仕組み
    - ・ 住民理解 …… 市民が主体的に参加し楽しめるイベントを通じ、観光客へも波及
    - ・ 国際競争力の強化 …… 他国に負けない札幌らしいコンテンツの創出

# 官民連携によるマンガ等を活用したまちづくりの推進について

## マンガ等を活用した札幌モデルと札幌市にもたらされる効果

### 持続可能かつ自走する官民連携による札幌モデル

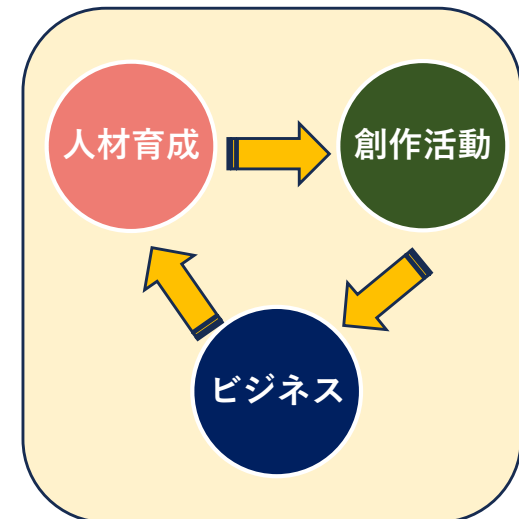
- 事業収益を確保し、自走できる在り方
- 市内の創作活動を担うクリエイターの育成・支援
- 地域(札幌)から創出したマンガ等による魅力の発信

マンガ等の力で地域を活性化

### 札幌市にもたらされる効果

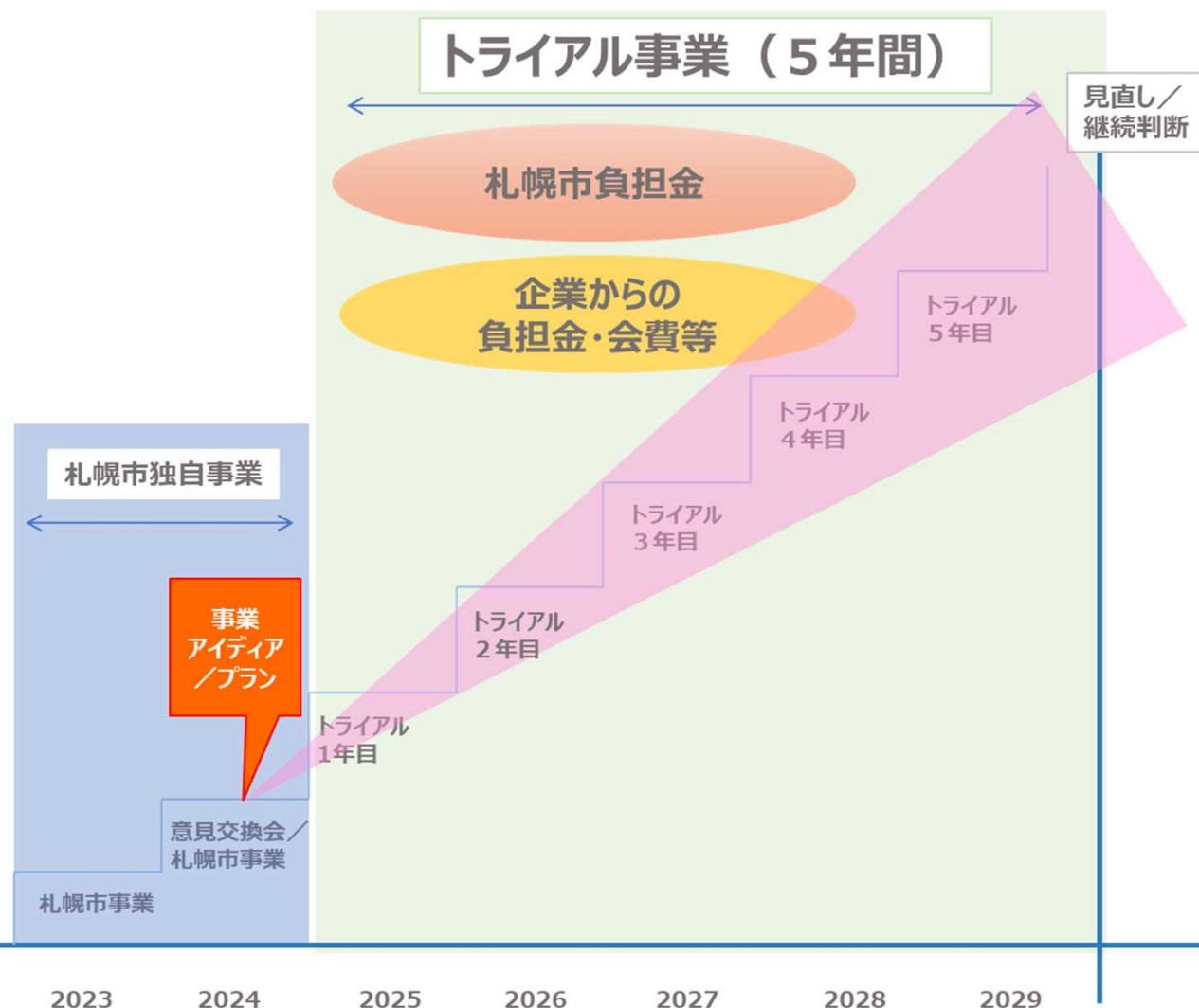
- ①官民連携によりマンガ家やクリエイター等の人材育成
- ②創作活動をサポートし、コンテンツが創出
- ③コンテンツを活用し、収益を獲得
- ④生まれた収益を人材育成に再投資

札幌市の魅力創出・発信、文化振興、教育、観光、産業振興に寄与



# 官民連携によるマンガ等を活用したまちづくりの推進について

## 5年間のトライアル事業（企業からの提案）



### キーワード

- ① 人材育成
- ② 機運醸成
- ③ 事業持続性

### 企業からの提案事業

#### ■ 市の負担金及び民間の会費等で実施

- ▶ テーマ型マンガライブラリーの実証実験
- ▶ 創作活動を想起させる企画展
- ▶ 札幌・北海道ゆかりのマンガにより魅力を発信する展示の開催
- ▶ IP活用によるクリエイター育成のためのカリキュラム/教材コンテンツの開発
- ▶ 創作活動を体験するワークショップの開催

#### ◆ 民間の会費等のみで実施

- ▶ 地元企業とコンテンツのコラボや二次創作による高付加価値製品の開発・販売の実証実験
- ▶ キラーコンテンツ起用による企画展等の大規模イベント開催



# 官民連携によるマンガ等を活用したまちづくりの推進について

## 官民連携で進める人材育成（企業からの提案）

クリエイター

クリエイターの育成

まちづくり・ビジネスへの展開

民間主体

マンガ家  
(キラコンテンツ)

マンガ家  
(連載コンテンツ)

- プロの編集者により雑誌連載するマンガ家の養成
- キラコンテンツの創出

- 出版社のようなマンガIPビジネスを展開
- エンタメ領域でのメディアミックスを念頭にした展開

官民連携

マンガ家及び  
マンガ家を目指す人々

子ども（次世代育成）

- ◆ ライブラリー機能をベースにクリエイターの育成
- ◆ クリエイター人口のすそ野を広げる  
※市民レベルで創作活動への理解や親しみを得的

- ◆ 実用マンガや商用利用等でのまちづくりへ活用
- ◆ クリエイターの活動を支援

ライブラリー

- 生涯学習・情報提供
- 課題解決支援
- 知的空間の創出

人材育成

ビジネス

- 商品開発・販売
- コンテンツビジネス
- イベント
- 企業タイアップ

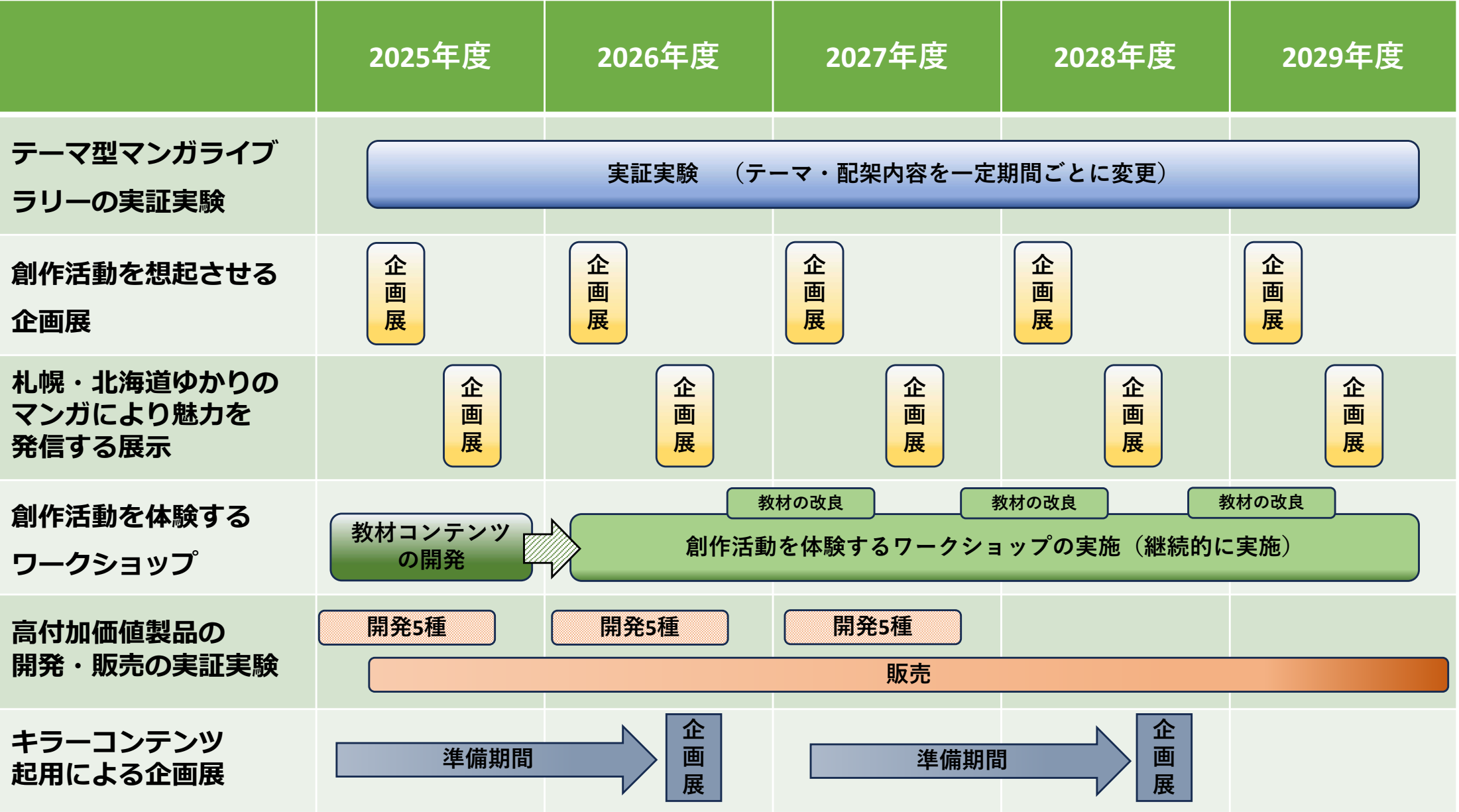
ミュージアム

- 原画保存
- 学術研究・展示
- 最新技術を用いた体験価値創造

図書（ライブラリー機能）を起点とした人材育成

官民連携によるマンガ等を活用したまちづくりの推進について

官民連携によるマンガ等を活用したまちづくりのロードマップ（5年間）



# 官民連携によるマンガ等を活用したまちづくりの推進について

## 札幌モデルを実践するための手法

札幌モデルを実現するためには・・・

### ■ 創出した札幌ならではのコンテンツを管理・活用

- ▶ 商標登録を取得するためには法人格が必要
- ▶ 任意団体での所有財産は個人に帰属

### ■ 民間企業の積極的な参画

- ▶ 民間企業等が持つノウハウを最大限に活用
- ▶ 意見交換会では法人格がなければ人的・資金的に積極的な参画が難しいとの意見が多数

### ■ 社会的信用の向上

「札幌モデル」の推進体制として、法人格を持つ一般社団法人を設立



# 官民連携によるマンガ等を活用したまちづくりの推進について

## 一般社団法人の会費等

### ■ 会員種別

- ▶ 正会員 この法人の目的に賛同して入会した個人又は団体、法人、公共団体（社員総会での議決権あり）
- ▶ 賛助会員 この法人の事業に賛助するため入会した団体、法人、公共団体
- ▶ 特別会員 理事会において推薦を受けて入会した個人、法人、団体、教育機関または行政機関

### ■ 入会金・年会費

会員種別	入会金	年会費	議決権
正会員（法人）	30万円	5万円/口	●
正会員（個人）	5万円	5万円/口	●
賛助会員	無料	5万円/口	×
特別会員	無料	無料	×

●札幌市は正会員（法人）として参画  
（入会金：30万円、年会費5万円）

●札幌市は公益性に寄与することが見込まれる  
事業への負担金を拠出

# 官民連携によるマンガ等を活用したまちづくりの推進について

## 一般社団法人における事業費負担割合の考え方

1 年目	一社会費	札幌市 負担金	企業 負担金	事業収入
2 年目	一社会費	札幌市 負担金	企業 負担金	事業収入
3 年目	一社会費	札幌市 負担金	企業 負担金	事業収入
4 年目	一社会費	札幌市 負担金	企業 負担金	事業収入
5 年目	一社会費	札幌市 負担金	企業 負担金	事業収入
事業成立				
6 年目	一社会費	企業 負担金	事業収入	

- ▶ 事業収入の増加に応じて札幌市の負担金を低減（6年目以降は事業への負担金支出は無し）
- ▶ 事業収益は人材育成等の公益性が高い事業へ還元